

くらしサポートセンター^に縁



コロナ禍で起こっている生活課題とは？

新型コロナウイルスは私たちの日常生活を大きく変えました。「普通であること」「普段のくらし」「社会的なつながり」など今までにない試練に直面しています。

新しい生活様式も徐々に浸透して来ていますが、社会の変化によってさまざまな生活課題が発生しています。

1. 社会的孤立の深刻化

相談できる人、頼れる人がいない

2. 失業・減収した人の増加

緊急事態宣言の発令、時短営業の要請などにより、勤務日数・時間が減り収入が激減。子どもに食べさせるお金がない、債務に返済で困っている、求職活動がうまくいかない等

3. 住まいを失う人の増加

派遣社員で生活してきたが、突然解雇され社員寮からも出ていかなければならない。住むところがなくなり生活ができない。失業して家賃が支払えない等

課題解決のために行うくらしサポートセンター縁の取り組み

コロナによって起こった失業・減収、食糧不足、住まいの喪失、孤立等の「くらしの困りごと」をお聞きして「一緒に解決する」活動をしています。具体的には以下の支援により皆様をサポートします。

1. 自立相談支援

総合相談窓口として、はじめての相談を傾聴します。お聞きした相談内容により、課題解決につながる対応ができる窓口へ連絡・調整し継続的に支援します。生活に困っている人への「情報と支援のサービス拠点」となります。

2. 家計改善支援

相談員が懇切丁寧に「家計」や「お金」のことなどを「見える化」します。その結果、必要に応じて「貸付のあっせん」「債務整理」等を提案し、一人ひとりの悩みに応じた解決策を考え家計の立て直しをお手伝いします。

3. 就労支援

「就職活動がうまくいかない」、「就職したけれど長続きしない」など就労に関することで困った時の身近な相談窓口です。ハローワークと連携してあなたの就職活動を伴走します。

4. 住居確保給付金の申請

就職活動をするなどを条件に一定期間、家賃相当額を自治体から家主さんに支給します。生活の土台となる住居を確保したうえで就職活動を支援します。

仕事や健康、生活費や借金などでお困りの方 たとえばこんなお困りごとはないですか？

★仕事のこと★

- 働く意欲はあるけど自信がない
- 仕事が続かない
- 就職活動は何から始めたらよいかわからない など

★お金のこと★

- 家計の状況で悩んでいる
- 家賃・電気・ガスなどを滞納している
- 借金の返済が大変だ など

★健康のこと★

- こころの病気で働けない
- 入院費用の支払いなど将来が不安 など

★生活のこと★

- 周囲に頼れる人がいない
- 社会参加したいが、どうすればよいのかわからない など

ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください

- ① お困りごとをあなたと一緒に整理します
- ② 対応策をあなたと一緒に考えます
- ③ 自立に向け継続的に支援します

相談は無料

秘密は守ります



※事前にご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。
感染症対策を行い対応します。

社会福祉法人 いなべ市社会福祉協議会

いなべ市くらしサポートセンター えにし 縁

電話 0594-86-7817 FAX 0594-86-7866

E-mail life-support@inabewel.or.jp

場所 いなべ市北勢町阿下喜31番地 いなべ市役所内 (W10 番窓口)
いなべ市委託事業

開所日 月曜日～金曜日 (土・日・祝祭日及び12月29日～1月3日は休業)

時間 8:30～17:15